

「環境共生型都市論」シラバス(2011 年度)

金曜日(月曜日)6限・7限(18:45~20:05、20:10~21:30)×4回

日程:5/6(金)、5/16(月)、5/20(金)、5/27(金)

コーディネーター:松行 美帆子(横浜国立大学)

講義の目的

低炭素型都市に焦点を当て、どのような政策・戦略をとるべきかを、様々な切り口による理論・技術、先進的自治体による取り組み事例から明らかにする。

講義のスタイル

基本は50分講義・30分ディスカッションのスタイルで行う。

□ 講義項目

0.イントロダクション

(1) 都市と地球温暖化 (松行) 5/6(金) 6限

1. 低炭素型都市づくりに向けての理論

交通と土地利用

(1) 温室効果ガス削減に向けた交通の課題(国立環境研究所:松橋先生)5/16(月) 7限

(2) コンパクトシティと交通(筑波大学:谷口先生)5/6(金) 7限

建物の単体対策

(3) 民生部門における温暖化ガス削減に向けて(住環境計画研究所:中上先生)5/16(月) 6限

面的エネルギー

(4) 省CO2型都市のエネルギーシステム(横浜国大:佐土原先生)5/20(金) 6限

2 低炭素都市づくりの実践

(1) 建築分野における低炭素化の実践(建築家:中村勉先生)5/27(金) 7限

(2) 鉄道分野における低炭素化の実践(阪急電鉄:上村様)5/27(金) 6限

(3) 自治体により低炭素都市づくり(飯田市:飯島様)5/20(金) 7限

□ 理解すべき事項

低炭素都市をつくるための理論

低炭素都市をつくるための実際の取り組みと課題

□ 成績評価

出席、レポート